

鹽入龜輔 しほいり かつみ 音楽評論家。明治二十三年八月二十一日東京樂地生
 校、昭和十二年一月八日歿（一九〇一—六）。早稻田大學法學部獨法科卒。
 在學中より音楽評論の筆を執り讀賣新聞社入社、次ついでに新交響樂團の機
 關誌「コナイルハーモニー」の編輯、雜誌「音楽世界」編輯長として樂
 壇の重きを成した。

著書 『邦譯歌詞周轉機・批判篇』（合著・永井郁子編、大正十五年六
 月十八日噴泉堂）、『ロシア音楽』（昭和四年九月五日敬文館）、『ゲ
 ヲークナーの生涯と藝術』（合著・音楽世界社編、昭和八年六月二十
 日音楽世界社）、『音楽辭典（用語・人名）』（唐端勝共著、昭和十
 三年二月二十一日啓藝社。改題復刊『音楽人名辭典』十六年十月二十
 五日新興音楽出版社）、『音楽の世界（遺稿）』（昭和十八年六月一
 十日白下訃書店）等。

